



南部町立南部中学校 学校だより 第10号

チーム南部中

令和5年9月8日(金)
校長 秋山 欣仁

第13回輝城祭テーマ「関わり」

～輝城祭に向けてラストスパート!～

9月16日(土)にテーマ「関わり」のもと第13回輝城祭を開催いたします。生徒会本部を中心に6月から準備が始まり、7月には実行委員会や各部門が組織され、夏休み中も多くの生徒が登校し取り組んできました。そして2学期に入ってから特別日程が生まれ、毎日各学級・学年、部門ごとの取り組みが続いています。コロナ禍を経て、これまでの伝統をもとに新たな輝城祭を創り上げようと、生徒会長を中心に熱心に取り組んでいます。取り組み過程では悩んだり困難にぶつかったりすることもあると思います。しかし、仲間との関わり合いの中で、自分たちの力で乗り越え、新たなものを創り上げるといった素晴らしい経験を積み上げることができていることと思います。

学級・学年・全校が大いに関わる中でチーム南部中として一つになり、感動の輝城祭として青春の1ページにしてほしいと思います。保護者の皆様には生徒たちの頑張りや成長をご覧いただき、応援していただけたら幸いです。

【取り組みの様子】



【1A：ムカデ練習】



【1B：長縄跳び練習】



【2A：ムカデ練習】



【2B：背中渡り練習】



【3A：長縄跳び練習】



【3B：長縄跳び練習】



【中高連携事業の一環で、身延高校の鈴木裕司先生に演劇を指導していただいています。】

《避難訓練・南部エリア防災会》

8月25日始業式の午後、大規模地震を想定した避難訓練をおこないました。これは今年で100年目の節目となる1923年に発生した関東大震災に由来する『防災の日』に合わせて実施したものです。放課後には中野・大塩・南部の3つの地区で組織する『南部エリア防災会』を開催しました。それぞれの区長さんと3年生で発電機、バルーン投光器、緊急用浄水装置、トリアージタグの使用方法について確認しました。



また、9月3日(日)には各地区で防災訓練があり、災害時に、中学生が地域の人々のために役立てるよう、真剣に取り組む姿が見られました。

『9月4日(月)山梨日日新聞より』

中学生が地震訓練参加
南部町 四駆隊は物資搬送

南部町は日、町内で総合地震防災訓練をした。自主防災組織を設立した南部中の生徒が初めて参加したほか、NPO法人、山梨県地震対策四駆隊(秋原吾理理事長)による物資搬送訓練もあった。

昨年6月全校生徒約140人による自主防災組織を結成した南部中は、生徒が各地区の防災訓練に参加し、中区には生徒4人が参加し、大入人が町役場を積み込み、3班に分かれて唐け先の内船上、だる3年の佐々木麗さんは、秋原理事長は、今回初めて参加したメンバーもいたが、無事に物資を届けられた良かった。有事に備え、今後も町に協力していきたい」と話していた。

（深沢 浩）

訓練を前にあいさつする南部中の生徒—南部町中野

四輪駆動の車両に物資を積み込むメンバー—南部町役場

QRコードから動画を見られます

《中学生交通安全・防犯弁論大会》

9月6日(水)に「南部警察署管内中学生交通安全・防犯弁論大会」が開催され、本校からは4名の代表者が出場し堂々と交通安全と防犯を訴える弁論を発表しました。



愛犬との散歩中の怖い経験をもとに、安全運転5則の遵守を訴えました。



あおり運転をされた家族との経験をもとに心にゆとりをもつことの大切さを訴えました。



振り込め詐欺で被害にあいそうになったお年寄りの経験をもとに、家族のきずなの大切さを訴えました。



闇バイトによる強盗事件をもとに、スマホやパソコンの使用方法について見直すよう訴えました。

《峡南地区理科自由研究発表会》

9月7日(木)に「峡南地区理科自由研究発表会」が開催され、本校からは2名の代表者が出場し夏休みに研究したことを堂々と発表しました。



電子レンジを用いて様々な液体等の温度の上がり方について研究したことを発表しました。



汚れの落ち方について様々な方法を用いて研究したことを発表しました。